



『 静かな決意、歩みの先に、光が満ちる 』

校長

秋も深まり、朝夕の冷え込みに季節の移ろいを感じるようになりました。学習や行事を通して、生徒たちの表情には、確かな成長の跡が見られます。進級や進路、卒業への意識も少しずつ高まり、晩秋の静けさの中で、次のステージへの準備が始まっています。

10月10日、佐倉ハーモニーホールで合唱祭が開催されました。「天歌夢奏～歌で伝えるクラスの絆 記憶に残る音楽を～」のスローガンのもと、各学級、思いを重ねた歌声を響かせ、緊張感のある中で練習の成果を発揮し、感動的な舞台となりました。審査員からは「のびやかで素直な歌声が印象的でした」との温かい講評もいただきました。仲間と協力する喜びや達成感を味わったこの経験が、卒業式へつながっていくことを願っています。ご来場いただいた保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

10月16日の第2回進路説明会では、多くの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。3年生は進路選択の重要な時期を迎えています。生徒が自らの希望や適性に応じた選択をするには、保護者の皆様の責任ある関わりが大切です。家庭での温かい励ましや冷静な助言が、生徒の意思決定を支える大きな力となります。今後も学校と家庭が連携し、生徒の未来を共に支えてまいりましょう。

10月22日、1年生が上野恩賜公園で校外学習を行いました。「一致団結～心に残る最高のひとときを～」のスローガンのもと、雨の中でも班で協力し計画を実行することで、多くの学びを得ました。できたことは自信につなげ、改善点は日常生活の中で意識して改善を続け、来年度の校外学習に向けて、さらに力を付けていってほしいと願っています。

1・2年生の中には、「進路選択はまだ先のこと」と捉えている生徒もいるかもしれません。しかし、進路選択は「生き方の選択」であり、キャリア学習は1年生の段階から意識して取り組むべき重要な学びです。日々の授業や体験活動の積み重ねが、将来の選択につながります。校外学習や福祉体験なども、進路を考える貴重な機会です。保護者の皆様の温かい励ましと責任ある関わりが、生徒が自ら考え、決める力を育みます。

家庭学習については「学習習慣の定着」や「アウトプット中心の家庭学習」に加え、これからは学びの質をさらに高める段階へと進んでいきましょう。学習習慣が身についたら、次は「振り返り」と「応用力」を意識してみましょう。毎日の学習後に「できたこと」「わからなかつたこと」を簡単に振り返ることで、自分の理解度を確認できます。また、学んだ内容を他の教科や日常生活と結びつけて考えることで、より深い理解や応用力が養われます。生徒の皆さんには、自分の学びを工夫しながら進めてほしいと思います。保護者の皆様には、温かく見守りつつ、適切に声をかけていただくことで、よりよい学習効果が期待できます。

生徒たちはそれぞれの歩幅で、確かな一步を踏み出しています。日々の学びや行事を通して育まれる力は、やがて自らの未来を切り拓く原動力となるでしょう。私たち教職員は、生徒一人ひとりの「決意」を尊重し、その歩みを温かく支えてまいります。保護者の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【11月の予定】

3日(月)	文化の日	18日(火)	1・2年テスト2日前部活動停止
4日(火)	1年ボランティア活動		学習会可
5日(水)	3年福祉授業	19日(水)	1・2年テスト1日前部活動停止
6日(木)	ノーパーク活デー		学習会可
7日(金)	全校委員会	20日(木)	1・2年第3回定期テスト1日目
13日(木)	ノーパーク活デー	21日(金)	1・2年第3回定期テスト2日目
17日(月)	教育ミニ集会 3年三者面談～21日まで (3年特別日課4時間) 1・2年テスト前部活動停止 学習会可	26日(水)	3年子育て理解講座
		27日(木)	ノーパーク活デー

天歌夢奏 ~歌で伝えるクラスの絆 記憶に残る音楽を~

10月10日(金)に佐倉ハーモニーホールにて、合唱祭を行いました。どのクラスも練習の成果を存分に發揮した素晴らしい歌声をホールに響かせました。保護者の皆様には、学年完全入れ替え制にご協力いただき、どの学年もスムーズに合唱祭を進めることができましたことに感謝申し上げます。

優秀賞

○1年3組 「あさがお」 指揮: 伴奏:

○2年1組 「だれのものでもない今を」 指揮: 伴奏:

最優秀賞

★3年3組 「青い鳥」 指揮: 伴奏:

※3年3組と吹奏楽部は、10月31日(金)におこなわれた第一部会音楽発表会に臼井西中学校の代表として参加し、素晴らしい歌声や演奏を披露しました。

【令和7年度 全国学力学習状況調査結果分析】

国語の調査においては、すべての分野において良好な結果が出ている。特に「話すこと・聞くことの分野」については優れた結果となった。これは基礎基本の習得に重点をおき、ICTの活用など個々の意見を出す工夫やお互いの考え方や意見を大切にして学び合う場面を増やしてきた成果であると考える。一方で「記述式の問題」について課題が見られた。日常的に書く機会を設けているが、更に力を入れて取り組む必要があると考える。

数学の調査においては、すべての分野において比較的良好な結果が出ている。これは朝学習の時間も活用しながらドリル学習を行ったり、既習内容の復習を適宜取り入れたりして基礎基本の定着に力を入れてきた成果であると考える。「図形の分野」は他の分野に比べ少し弱い結果であった。図形の内容を視覚的にとらえられるようにICTの活用を積極的行っているが、継続して取り組むことで向上が図れると考える。

理科の調査においては、「生命」を柱とする領域においては、大変優れた結果が出ている。「地球」を柱とする領域も良好な結果であった。これは身の回りの自然に目を向け、ICTを活用した映像などを用いることで興味・関心をもって取り組めた成果であると考えられる。一方で「エネルギー」や「粒子」を柱とする領域には課題が見られた。目に見えないものを表現する工夫や、事象を理論的に考えるための話し合い活動などを多く取り入れることで向上が図れると考える。